

# 表面形電子式電力量計“ M8UMシリーズ ”

黒田淳文\*  
戸板滋人\*  
高橋秀宗\*

Surface-mounted Type Electronic Watt-hour Meters “ M8UM Series ”

Atsufumi Kuroda, Shigeto Toita, Hidemune Takahashi

## 要 旨

分電盤の省スペース化・標準化のニーズ、省エネルギー推進の機運の高まりによる末端の分電盤における電力量の計測ニーズに対応するため、2002年に表面形電子式電力量計“ M8Uシリーズ ”を発売した。この電力量計は、1台で4方向取付けが可能な表示部回転機構( RDPメカ : Rotation Display Panel )による他社差別化をセールスポイントにして好評を得た。

その後継機種として、より柔軟な分電盤設置が可能、設置時の誤結線が容易に判別可能など、より使いやすく進化した“ M8UMシリーズ ”を開発した。従来機種と同様に、すべての定格品と通信機能付( B/NET・LONWORKS<sup>(注1)</sup> )を品ぞろえする。主な特長は次のとおりである。

(注1) LONWORKSは、Echelon Corp. の登録商標である。

- (1) 新規開発した計測ASIC( Application Specific Integrated Circuit )を搭載し、電子回路の高集積化と、電流センサ特性補正機能による安価な電流センサ採用によって、低コスト化を実現した。
- (2) 端子ピッチを25 / 30mmで自由に変更できる端子ピッチ可変構造を搭載し、多様な端子ピッチのブレーカとブスバー配線可能など、より柔軟な分電盤設置を可能とした。
- (3) 逆電流判別機能を搭載し、電力量計設置時の誤結線を容易に判別可能とした。
- (4) IEC( International Electrotechnical Commission )レール取付けに標準対応した。
- (5) 従来機種と構造面で互換性を維持し、分電盤を変更することなく従来機種から新機種へ交換可能とした。



単独計器 ( 30A , 120A )



変成器付計器 ( 5A )

## 表面形電子式電力量計“ M8UMシリーズ ”

端子ピッチを25 / 30mmで自由に変更できる“ 端子ピッチ可変構造( 定格電流30A , 120A )”, 各相で逆電流を判別して液晶表示する“ 逆電流判別機能 ”の新機能を搭載した。従来機種から表示部回転機構( RDPメカ ), ロータリスイッチによる電源不要の簡単設定も踏襲し、柔軟な盤設計、容易な設置をサポートする表面形電子式電力量計である。